



・第241回地震予知連絡会(2023年11月30日)の重点検討課題ならびに第244回(2024年8月29日)のプレート境界の固着状態とその変化で報告した内容の続報<sup>1)</sup>。

・2003年十勝沖震源域の東側の、1952年十勝沖地震で滑りの大きかった場所(■)<sup>2)</sup>付近のb値が特に低く、前回報告時同様0.5程度である。

・1968年十勝沖地震ならびに1994年三陸はるか沖地震の震源域<sup>3)</sup>のb値も前回同様に低い値(0.6程度)を保っている。

・2025年11月9日にM6.9が発生した場所(★)は、1968年・1994年の震源域の南東側に隣接しており、b値も同程度に低い値を示していた(2020/1/1～2025/6/22のデータ)。

1) Nanjo, Hori and Iwata (in review, <https://doi.org/10.48550/arXiv.2507.21478>).

2) Hirata et al. (2003, JGR, <https://doi.org/10.1029/2002JB001976>).

3) Yamanaka et al. (2004, JGR, <https://doi.org/10.1029/2003JB002683>).